

多摩湖ふれあいセンター ニュース

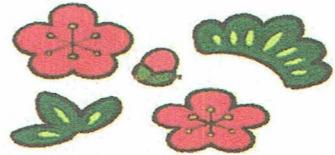
発行／多摩湖ふれあいセンター市民協議会

〒189-0026 東村山市多摩湖町1-18-16 ☎ : 042-398-7851

E-mail : tamako.fc@jcom.home.ne.jp

(FAX: 042-398-7852)

◆ 開館時間：9時～21時30分 ◆ 休館日：毎週水曜日



新年あけまして おめでとうございます

昨年は新型コロナウィルス感染予防にご協力を賜り感謝申し上げます。
本年はより一層充実した管理・運営を目指していきたいと存じます。
地域の皆様のご支援とご協力をよろしくお願ひいたします。

令和4年 元旦

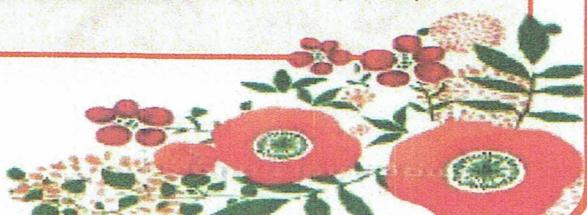
多摩湖ふれあいセンター市民協議会

役職員一同

新年あけましておめでとうございます。

一昨年のはじめに、日本で初めての新型コロナ感染者患者の方が発見され、昨年は、新型コロナ感染が拡大し、医療の崩壊も始まり、コロナ感染者の自宅療養という命の選択肢も起こる中、私たちは強制力の伴わない自粛要請で、外出を控えるステイホームとマスクに手洗い、人との距離を保つニューノーマルな生活で乗り切りました。今のところ日本は新型コロナウィルス感染が底を打ったように見えますが、世界はまだ感染の勢いは止まっています。私たちがコロナから抜け出せるのは、ワクチンと薬が開発され、インフルエンザワクチンのようになって初めてアフターコロナと言える日常の生活になると思います。感染対策のウイズコロナの中でも、創意と工夫を持って地域の活性化のため、広く皆さんの参加の下で楽しく当館を利用していただけるようにと、本年も願っています。

市民協議会会長 宮村 幸次郎



消防訓練のご報告

去る12月15日（水）センターの役員、職員による防火訓練を実施致しました。

今回は東村山市消防署の方に出張いただき、消火器消火訓練、119番通報、AED（自動体外式除細動器）操作等について実地指導を受けました。

この訓練結果を今後のセンターのより安全性の高い防火管理に生かしてまいります。



ふれあいセンター利用者アンケート結果の報告

実施：令和3年11月4日～11月18日

回答：30人（男性10人 女性20人）

市と多摩湖ふれあいセンターが協力をして、利用者の皆さんにアンケートの回答をいただきました。回答の中からいくつかの項目をピックアップしました。

- 職員の対応 満足している(27人) どちらともいえない(3人)
- 施設内の状況 きれいである(27人) どちらともいえない(1人)
和室の畳が汚い(1人)
- また利用したいですか？ 利用したい(30人)

<意見、他>

- ・和室のテーブルが邪魔
- ・いつも丁寧に対応していただいています
- ・現在使用できず、早い再開を願っています。



<回答>

※多目的に利用が出来るように、常時和室のテーブルは設置されています。

従って、テーブルを移動させてご利用の皆様にはご面倒をお掛けしています。
アンケート結果を踏まえ、テーブルの数を減らす等の改善を致しました。

今後も皆様のご意見を参考にサービス向上につなげて行きたいと思います。
ご協力ありがとうございました。

利用のご案内

「多摩湖ふれあいセンター」には、勉強会・軽体操・発表会等々、グループで利用できる大きな部屋が1階と2階にあります。

場所探しに困っている方、またこれからサークルの立ち上げを計画している方々、是非ご利用ください。

利用免除団体登録制度もありますので、利用料他につきましてはお問い合わせください。

◆1階 集会室(多目的室) 70名収容(椅子のみ使用時)

◆2階 和室1(17.5畳 24名)
和室2(14畳 18名)
和室3(8畳 8名)
料理教室



◆図書コーナー 新着図書4冊

児童図書：『フォックスさんにわ(評論社)』『ぼくといっしょに(ブロンズ新社)』

一般図書：『やつた(三起商行刊)』(退職願いを出したのに、会社から4年3ヶ月もの有給休暇をもらって世界一周5万5000キロを自転車で走った男)



『日本が売られる(幻冬舎)』(日本の農地、水、種子等諸々のものが今や世界の投資家に売られている。この現実をまず知りたい)

市役所地域サービス窓口ご案内

毎週木曜日 14時～16時

毎週金曜日 9時30分～16時

※ 祝祭日を除く

- ・住民票の写し、戸籍全部・抄本
個人事項証明謄本などの交付
- ・印鑑登録申請、印鑑登録証明書の交付
- ・課税(非課税)証明書、
資産関係証明書の交付 他



初鷄やとなりの嫁はワイン飲む
初詣母といつもの甘酒屋
初春の小さな願い点灯す
来ぬ賀状待ちて一日ボスト前
翌・犬の令唱付きや雑煮膳
勝ち負けは嫌よ読み手の歌留多取り
手の離は味の深さやお喰積
年新た猫の水飲む音淨し
やつと行く稽古初めやベテランど
絶海の海原一氣初日射す

政月 堤舟 有子 延子 真弓 孝子 秋子 浩子 和子 恵実

やけべ俳壇



ふれあいドア③



『高齢化社会と、その課題について』

総務省によると、国内の65歳以上の高齢者の推計人口は過去最多の3640万人で人口の約29%を占めている。100歳以上も過去最多の8万6500人に上がるという(昨年9月15日現在)世界有数の長寿国であることは喜ばしい。

ちなみに東村山市及び多摩湖町の昨年9月1日現在の人口統計では、東村山市の高齢化率は26.9%、多摩湖町の高齢化率は30.1%で市全体を大きく上回っている。

長寿が無条件で幸せであったような時代は既にとっくに過ぎてしまっている。国内の100歳以上の高齢者が8万6500人(東村山市は90人)を超える昨今、長生きははたして幸せかという疑問が浮上してくるのは当然であろう。

人生後半の生き方は十人十色である。例えば、65歳で現役を退き、悠々と脳活に励み、健康維持に努め、趣味や野菜作りを楽しむ人、ボランティアなどで社会貢献をしあげがいを持つ人、あるいは余暇の過ごし方に途方に暮れている人など、それぞれにより事情が違うであろう。しかし自分なりに豊かさを探す愉しみがあるはずである。

近年、社会の価値観やライフスタイルの多様化、地域のコミュニティーの希薄化等を背景として、ひとり暮らしの高齢者や障害者など、支援を必要とする人が増えており、そういう方々への適切な支援と、互いを認め支え合う地域のつながりの醸成、その人に応じた自立支援、などが社会的課題となっている。

長引くコロナ禍の中、皆様方の平穏願うや切。

(大澤 晃)



＊＊皆様が撮った写真を募集します＊＊

風景・草花・生き物等、様々なシーンの写真を募集いたします。

※応募は出来る限りUSBカードでお願いいたします。

★ご応募ありがとうございました★

撮影 西河 葉子 様

